

# ごみ減量大作戦 実行中

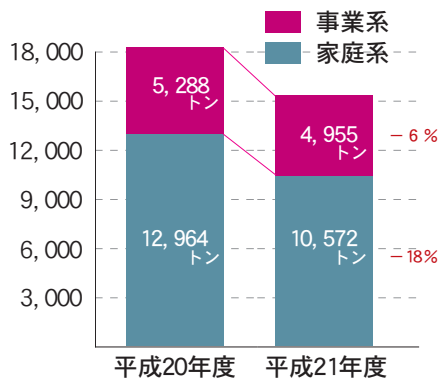
問い合わせ…市環境課（内線233）

## ごみを減らして 企業イメージアップ

事業活動に伴い発生する事業系ごみは、廃棄物の処理などを規定した法律で、一般廃棄物と産業廃棄物に分類され、それぞれ定められた処理が義務付けられています。また、それらのごみは、事業者自らの責任で処理することや、再生処理などを積極的にに行い減量化に努めなければならぬことが明記されています。

※ ※ ※ ※ ※

平成21年度の事業系一般廃棄物は4955トンで、前年比約18%減量した家庭系ごみに対し、約6%の減量にとどまっています。



事業系一般廃棄物の処理は、収集運搬許可業者への委託と自ら岩手沿岸南部クリーンセンターに持ち込む方法があり、いずれも費用が掛かります。

※ ※ ※ ※ ※

事業所でごみ減量に取り組むことは、経費の節減はもとより、消費者の関心が高い「環境」への配慮による、企業イメージアップや職員意識の向上につながります。

事業所から発生するごみは、業種、取り扱い品目により多種多様ですが、まずは身近な紙類（新聞・ダンボール・雑誌類）などの分別から始めてみましょう。

※ ※ ※ ※ ※

事業者の皆さんが紙類などの資源物を分別しても、岩手沿岸南部クリーンセンターに持ち込むと、量に応じて、10kgごと200円の処理費用が掛かります。分別した資源物の取り扱いは、市内資源物回収業者の利用をお勧めします。

4月から広域ごみ処理を行う「岩手沿岸南部クリーンセンター」への負担金は、構成市町の**一般廃棄物（家庭系と事業系）**のごみ搬入量の割合で算定されます。ごみ減量は、市民、事業者の一体となった3Rの取り組みが必要です。

## リッツごみ減量

「事業系ごみの分別・リサイクル実践編」

### ㈱及川工務店

（新浜町）

市内外の企業で構成される三陸廃プラスチックリサイクル研究協同組合では、建設廃材・漁業系廃棄物や、プラスチック製造業者から排出される廃プラスチック類を原料として、側溝ふたなどにリサイクルする事業を行っています。構成企業の一社である㈱及川工務店では、社内に出たペットボトルを分別し、事業の原料としています。



廃プラスチックから作られた側溝ふた

### ホテルサンルート釜石

（大町）

大渡町、大町、只越町の三商店街で組織する釜石市商店街振興組合協議会では、商店街の紙ごみを集団回収してリサイクルする取り組み、「オフィス商店街」を実施しています。

その事務局であるホテルサンルート釜石では、自社のダンボール、新聞や雑誌などの紙類は種類ごとに分別しています。そのほか、業務用生ごみ処理機を導入し、水分を多く含んだ生ごみの減量・リサイクルに努めています。



ホテルサンルート釜石で使用している生ごみ処理機

3R(スリーアール)は循環型社会構築へのキーワード

①Reduce (発生抑制)・②Reuse (再使用)・③Recycle (再生利用)  
3つのRを意識したライフスタイルを身に付けましょう!